

(参考) 供給面での取組み前後の需給バランス (最大電力：kW面)

【当初計画】

(発電端) (単位：万kW)

	12月	1月	2月	3月
最大電力(最大3日平均)	1,422	1,457	1,421	1,347
供給力	1,791	1,741	1,716	1,593
供給予備力	369	284	295	246
供給予備率 (%)	25.9	19.5	20.8	18.3

↓ ←右記①

【原子力全基停止時】

	12月	1月	2月	3月
最大電力(最大3日平均)	1,422	1,457	1,421	1,347
供給力	1,484	1,389	1,334	1,185
供給予備力	62	▲ 68	▲ 87	▲ 162
供給予備率 (%)	4.4	▲ 4.7	▲ 6.1	▲ 12.0

↓ ←右記②

【供給力対策後】

	12月	1月	2月	3月
最大電力(最大3日平均)	1,422	1,457	1,421	1,347
供給力	1,526	1,469	1,480	1,437
供給予備力	104	12	59	90
供給予備率 (%)	7.3	0.8	4.2	6.7

【昨年度の時間最大電力相当の需要が発生した場合】

	12月	1月	2月	3月
最大電力(時間最大電力)	1,482	1,533	1,474	1,377
供給力(※)	1,561	1,499	1,506	1,437
供給予備力	79	▲ 34	32	60
供給予備率 (%)	5.3	▲ 2.2	2.2	4.4

(注) 四捨五入の関係で合計値があわない場合がある

(①の内訳)

	12月	1月	2月	3月
原子力の発電再開の延期による供給力減	▲ 307	▲ 352	▲ 382	▲ 408

(②の内訳)

	12月	1月	2月	3月	
供給力確保の取組み	火力・水力の補修時期調整	+71	+137	+191	+281
	離島内燃力設備の臨時稼働	+8	+8	+8	+8
	他社からの受電増他	+26	+24	+25	+29
原子力停止の間接的影響	▲ 63	▲ 89	▲ 77	▲ 66	
合計	+42	+80	+147	+252	

期間を通して今冬の最大電源ユニット (70万kW) 相当の供給予備率5%の確保は困難

- (※) 需要急増時の緊急的な対応として、以下を追加実施
- ・揚水発電所の上池運用容量を最大限活用 (+17万kW)
 - ・火力発電所の出力向上運転 (冬季：+13万kW)